

STEP1 用意するもの

STEP2 機器の接続

裏面へ

★はじめに
本書は初めてWMS2を使うときに行う手順を示します。

まず最初に本書に従って接続、設定することでモニタリング、グラフ、レポート機能を試すことができます。設定は後で自由に変更できますので、本書に従って試した後、使いたい機能を“取扱説明書”を参照し調整されることをお奨めいたします。

STEP1 下記機材を準備してください。

番号	名称	外観	補足説明
①	ウエザートランスミッター WXT53x		1) WXT53x本体 (WXT520、WMT52、WXT536、WXT531、532、533、534、535、536アナログ入力付き) 2) 接続ケーブル (WXT53x購入時同梱、片方コネクタ、片方バラ線形状)
②	WXT53x用変換コネクタ		WXT53xとWMS2を接続する変換コネクタです。(RS-232C仕様専用)
③	WMS2本体		小気象観測Webサーバ装置です。LANケーブルを接続し外部より操作、閲覧できます。
④	ACアダプタ (WXT用)		仕様：DC24V/2A以上出力 内径φ2.1mm ※外観が異なる場合があります。
⑤	ACアダプタ (WMS用)		仕様：DC5V/2A出力 EIAJプラグ形状 ※外観が異なる場合があります。
⑥	PC (パソコン)		PCの仕様は LAN接続口×1、USB×1以上装備であること 使用OSはWindows® 7、8.1、10 ブラウザはIE11以降または、GoogleChrome62以降が あらかじめインストールされていること。
⑦	WXT53x設定ツール		Vaisala WXT53X Configuration Tool Kit (ヴァイサラ社 有償ツール)
⑧	LANケーブル		カテゴリ 5 以上 (WMS2とPCを接続するのに使用します)
⑨	マイナスドライバー		②WXT5xx変換コネクタに接続ケーブルをつなぐ時に使用します。

STEP2 機器の接続をしてください。

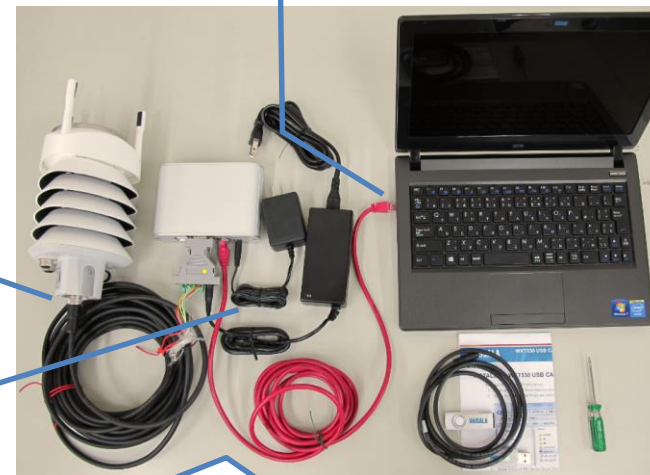
機材を下記手順で、接続してください。
＜注意＞ 電源配線の極性等を間違えないようにしてください、機器故障の原因になります。

手順1

ウエザートランスミッターWXT53xと、接続ケーブルをつなぎます

手順2

WMS2とPC間を、LANケーブルで直接接続します。

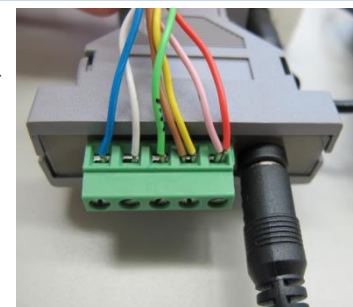


手順4

最後にACアダプタを、(2個ともに)コンセントに接続して電源を供給してください。

手順3

WXT53x接続ケーブルを変換コネクタに、右写真のとおりつなぎます。
接続完了後、ACアダプタも接続してください。



電線色	青	白	緑	茶、黄	赤、ピンク
信号	TXD	RXD	GND	24V	0V



STEP3 WXT53xの初期設定



- PCにWXT53x設定ツールをあらかじめインストールを行い、WXT53xとPCをUSBで接続します。(左写真のように接続してください。)
- 本設定をあらかじめ完了している場合、再設定する必要はありません。本設定は電源を切っても保存されています。
- 従来のユーザー様でWXT520用設定ツールをお使いのお客様は、Analog input messages項目を設定することができませんのでご注意ください。

WXT53x設定ツール (Vaisala Configuration Tool)を、下記画面と同じになるように、設定してください。

Device Setting

Device Settings

Device: WXT530, Serial number: P3720315, Version: 3.66, PPU in: PS240131, Calibration date: 10.9.2019, Order code: 6B1B2ASD2!, Info: [0]

Enhancements: Enable heating, Enter messaging, Composite message auto transmission

Communication protocol: SD4-12 v1.3, ANGA v3.0, ASCII, Pulling only, Response with CRC

User port settings: RS-232, Bits per second: 19200, Data bits: 8, Parity: None, Stop bits: 1, RS-485 live delay (min): 25

Sensor Setting

Sensor Settings

Wind: Gust averaging, Direction correction, Averaging time, Speed unit, Sampling frequency, Update interval

PTU: Temperature unit, Barometric pressure unit, Update interval

Precipitation: Counter reset, Rain overflow reset, Rain unit, Hall unit, Auto report based on

Message Setting

Message Settings

Wind message: Direction minimum, Direction average, Direction maximum, Speed minimum, Speed average, Speed maximum

PTU message: Barometric pressure, Air temperature, Relative humidity, Pressure ref. temp

Precipitation message: Rain accumulation, Rain duration, Rain intensity, Rain peak, Hall accumulation, Hall duration, Hall intensity, Hall peak

Analog input message: Solar radiation, Aux. temperature, Aux. pt1000 resistance, Aux. level, Aux. rain, Aux. pt1000 resistance

Self diagnostic: Heating temp, Heating voltage, Supply voltage, 3.5V reference, Info

Analog Inputs Setting

Analog Inputs Settings

Update interval: 5 s, Solar radiation and aux level averaging time: 5 s

Solar radiation: Solar radiation gain: 99701

Auxiliary Level: Aux. level range: 1 = 5 V, Aux. level gain: 1

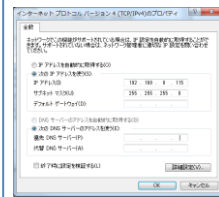
Auxiliary Temperature: Aux. temperature averaging time: 3

Auxiliary Rain Sensor: Aux. rain counter reset: M = No reset, Aux. rain gain: 0.5, Aux. rain counter limit: 1000

一度全ての項目にチェックを入れてください。WMS2再起動時(電源投入時)に不要な項目は自動的にはずれます。

STEP4 WMS2のモニタ機能を使ってみる

1. PCのIPアドレスの変更

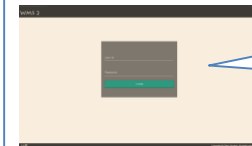


PCのIPアドレスを変更してください。例としては「192.168.0.115」に合わせてください。

※補足説明

WMS本体は工場出荷時「<http://192.168.0.210/wms/>」に設定されています。設定するPCよりWMSにアクセスできるようにするためには、PCのアドレスが同一セグメント(ネットワークセグメント)のIPである必要があります。

2. ブラウザによるアクセス開始



PCのブラウザを立ち上げアドレス欄に「<http://192.168.0.210/wms/>」と入力してください。この画面が表示されればアクセス成功です。

ユーザーIDに「admin1」パスワードに「admin1」を入力してログインしてください。

3. ログイン



この画面が表示されれば、ログイン成功です。

「気象観測システム」をクリックしてください。

4. リアルタイムモニタ画面の表示

右図の画面で太文字部分(風向、風速、気温、湿度、気圧)のどれかが表示されれば、正常です。数分待つて表示されないなら、WMS2本体の電源を一旦切って配線を再確認してください。(電源切断手順は別紙「電源の投入と切断手順」を参照ください。)



<補足説明>

PCを切断(ログオフ)しても、WMS2とWXT53xに電源が供給されていれば自動的にデータ蓄積動作を継続します。データが蓄積されれば下記機能(ウィンドローズ、グラフ、レポート)が使えます。

ウィンドローズ



グラフ



レポート

★この状態でメール通報以外の基本的な機能が利用できます。この後は、イントラネットへの接続変更、現場設置のため詳細部分調整を自由に変更できます。電源は切断されても設定は残っていますので詳細は「取扱説明書」をご参照ください。